



あいさつ

砂川市長 善岡 雅文



新年あけましておめでとございます。

市民の皆様には、穏やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、あたたかいご支援とご協力をいただき、多くの皆様に市政全般に対するご意見をいただきながら、市政運営を進めることができましたことに厚くお礼を申し上げます。

昨年12月に2017年の世相を1字で表す漢字が「北」に決まりました。理由としては、北朝鮮の発射した弾道ミサイルが北海道上空を通過したことや北海道日本ハムファイターズの清宮選手の入団などが挙げられ、まさに「北海道」が注目された1年でありました。

砂川市におきましては、妊娠、出産、子育てをしっかりとサポートする施策を昨年はさらに拡充し、幼稚園保育料の負担軽減補助の新設、子育て中のお母さん方から要望のあった公民館ラウンジ内へのキッズスペースの設置、学力の向上および家庭学習の習慣化を目指した放課後学習サポート事業な

ど、市民の声を聴きながら子育てを総合的に支援しているところであります。年末には市営野球場の光明鮮やかな電光掲示スコアボードの設置やフィールドの拡大など、施設の大規模改修が終わり、時期を同じくして北海道日本ハムファイターズ「北海道179市町村応援大使」に近藤健介選手と石井裕也選手が決定するという明るいニュースで1年を締めくくることができました。

本年は市制を施行してから60周年を迎えます。この記念すべき年に、庁舎建設では基本設計・実施設計に入りエレベーターの設置や窓口レイアウトなど、より詳細な姿が示される予定であり、今後も市民の皆様と情報を共有しながら親しまれる庁舎の実現に向け進めてまいります。

また、昨年より地域で安心して暮らせる環境を図るために社会福祉法人に対し建設補助を行ってりましたが、今月には市民の念願であった地域密着型特別養護老人ホーム福寿園が完成、4月には利用開始予定であり、入所待ちを少しでも解消することができればと考えております。

終わりに、ことしの干支は聴覚に優れた「戌」であります。遠くの小さな声にも耳を傾け、2期目最後の年も全速力で走り続けますので、引き続き市民の皆様のご支援ご協力を賜りたいと存じます。

市民の皆様にとって、ご健勝で幸多き年となるよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新年のご

砂川市議会議長 飯澤 明彦



新年あけましておめでとございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えられましたことと議員一同心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対するご厚情とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、アメリカ合衆国の新大統領誕生に始まり、北朝鮮からの弾道ミサイルが北海道の上空を通過し、国際社会の緊張が高まりを見せる中、国内においては、衆議院が解散し総選挙が行われるなど、政治・経済・社会が大きく揺れ動いた一年でありました。

さて、本市においては、少子高齢化や人口減少社会が進展する中、地域の特徴を活かした産業の振興、雇用の確保などの地方創生を進めるため、企業の仕事内容や仕事のやりがいなどを若手従業員から伝えるPR冊子やメッセージを贈る動画を作成し、地域の活性化や就業機会の創出に取り組んでいるほか、ハイウェイオアシス館に産直市場がオープンしたことは、まちの新たな魅力発信につながるものと期待しております。

す。

また、新庁舎建設につきましては、市民ワークショップや市民説明会などを開催し、市民の皆様からのご意見をお聞きし基本計画が策定され、今年は、設計段階へと順調に進められる予定であります。

昨年の市議会を振り返りますと、議会改革において市民に開かれた議会を目指し、市民の声を直接聞くことが重要と考え、初めての議会報告会を全議員出席のもと、市内3会場で開催しました。いくつかの課題もあります。市民の皆様のご意見やご提案などを議会活動に反映させるため、今後改善を図りながら取り組んでいこうと考えております。さらに、政務活動費については、平成29年度交付分より領収書と活動報告書のインターネット上での公開を実施し、さらなる透明性の確保を図ってまいります。

私も議員一同、市民の代表として、二元代表制の一翼を担う議会の役割と責任の重さを自覚するとともに、市民の皆様への負託に応えるべく、市政の諸問題解決に向け誠心誠意努めてまいります。

本年が市民の皆様にとりまして、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本年もよろしく

お願い申し上げます

平成30年 元日

砂川市議会議長一同

